

常盤北小 コミュニティ・スクールだより

第4号 令和5年7月18日 さいたま市立常盤北小学校

～学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を開催しました～

令和5年6月27日（火）、常盤北小学校において今年度 第1回の「学校運営協議会（コミュニティ・スクール）」を開催しました。これは、地域の方々や保護者等が学校運営に直接参画し協働して子どもたちの健やかな成長を支えていく取組です。常盤北小学校・常盤小学校・常盤中学校 3校合同の全体会では、各校の校長が「学校運営に関する基本的な方針」を説明し満場一致で承認されました。また、学校と地域が抱える様々な課題を解決して行くための「熟議」を行いました。「熟議」では、はじめに昨年度の各校の取組を紹介し、その後 今年度取り組む具体的な実践内容について熟議を行いました。

〔第1回学校運営協議会の熟議内容〕

○学校の取組、提言



教職員が声を出してあいさつを行い、児童・生徒にあいさつで生まれるコミュニケーションの大切さを感じ取らせたい。児童・生徒には、学年に応じて易しい(優しい)言葉をかける。児童・生徒の制作するポスター等で啓発する。あいさつは、コミュニケーションの一つ。あいさつの価値、意義を考えてみる。「心を潤す4つの言葉(おはようございます・ありがとうございます・はい・ごめんなさい)」の活用。

○家庭の取組、提言

児童・生徒の見送りや帰宅時に保護者が率先しあいさつを行う。コミュニケーション力向上のためには、あきらめず継続すること。保護者同士のあいさつを積極的に行い、児童・生徒に模範を示す(言葉のキャッチボールを大切にしたい)。



○地域の取組、提言

地域の祭り、公民館の催し、少年団等の活動の場へ親子で参加する機会を増やす。特に「出会いのあいさつ」、「別れのあいさつ」をきちんと行うことが大切。

街中では、知らない人にあいさつをしづらいので、まずは防犯ボランティア・交通指導ボランティア等の人たちへあいさつをしてはどうか。学校・家庭・地域で、積極的に身近な出来事、事柄等を話し合う機会を増やすよう努める(家庭等で、一人ゲーム機や携帯等の画面を眺める日常の改善)。

以上、限られた時間でしたが、子どもたちが地域の中で健やかに育つ環境を創って行くための活発な意見交換がなされました。

あいさつ

さいたま市立常盤北小学校

校長 財部 幸樹

平素より、本校の子どもたちを温かく見守り、そして力強く支えてくださっております皆様、改めて感謝申し上げます。

さて、先日、本校を会場に、常盤中学校、常盤小学校、常盤北小学校の第1回学校運営協議会を合同で開催いたしました。昨年度からスタートしたコミュニティ・スクールの運営も軌道に乗り、充実した熟議が行われました。

今年度も、引き続き、学校・家庭・地域が一体となり、「コミュニケーション力」を身につけた人材を育成するという目標を立て、その第一歩として「あいさつができる子」の育成を進めてまいります。しかしながら、子どもの健全育成に関わる皆さんが「あいさつができる人」でなければ説得力がありません。まずは、この便りをご覧になった方々であいさつの輪を広げ、子どもたちに見せていきましょう。きっと子どもたちの輪の中に、あいさつの花が芽吹くはずですよ。

学校運営協議会委員長の志水 正様をはじめとする委員の皆様におかれましては、今後もご指導を賜りますとともに本校のさらなる発展のため、ご尽力賜りますようお願い申し上げます。

<常盤北小学校の学校運営協議会委員>

会長 志水 正 様（北浦和5丁目自治会長、青少年育成常盤地区会会長）

副会長 荒田 貴子 様（常盤北小学校PTA会長）

委員 河田 和夫 様（常盤北小学校施設開放委員会管理指導員）、柴田 房雄 様（元小学校長）

鶴田 照恵 様（チャレンジスクール コーディネーター）、五味 滋子 様（民生児童委員）

大島 美恵子 様（常盤北保育園園長）、坂井 顕子 様（常盤北児童クラブ施設長）

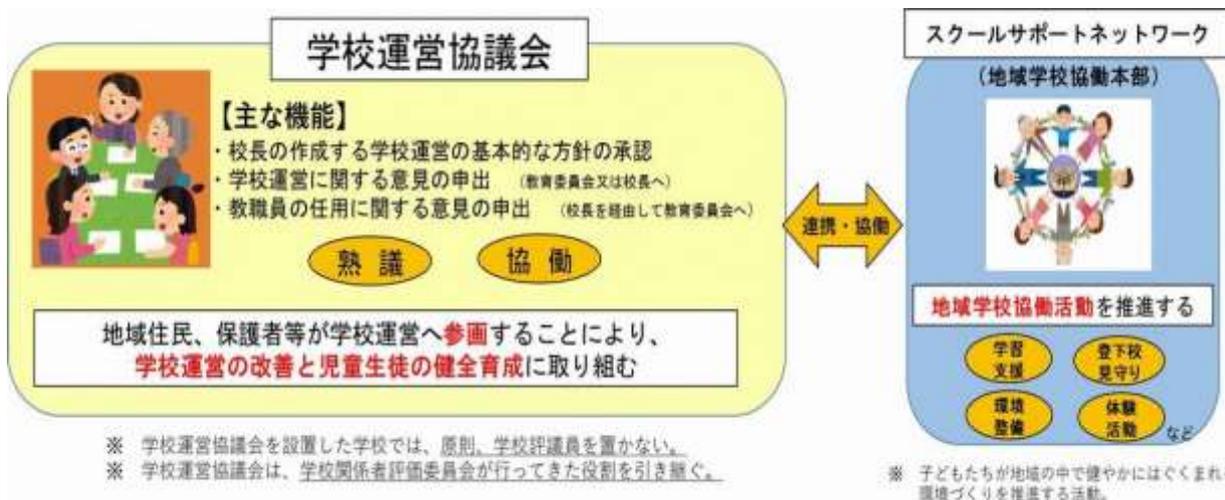
夫 慧子 様（常盤北小学校PTA副会長）、島 純子 様（常盤北小学校PTA副会長）

鋒城 真子 様（常盤北小学校PTA副会長）

財部 幸樹（校長）、遅澤 麻奈美（教頭）、秦野 昌明（学校地域連携コーディネーター）

<今後の予定>

第2回学校運営協議会は10月～11月に各校で開催予定です。また、各校では学校運営協議会での熟議を踏まえ、学校・家庭・地域で「コミュニケーション力向上」のため「あいさつ運動」等の具体的な活動を進めてまいります。



(さいたま市役所ホームページより掲載)